

宮崎市「事務事業の外部評価」 事業別判定結果シート

チーム名	第 1 チーム	担当課名	農政企画課
事業番号	1-12	事務事業名	みやざきブランド定着推進事業

判定結果	見直しが必要
------	--------

【結果内訳】

判定		判定理由	
選択人数	区分	選択人数	項目（複数選択可）
0	不要 (廃止)		① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
4	見直しが 必要	1	① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		3	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
		1	③ 他の事業との統合を検討すべきである。
			④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
		1	⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
		1	⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
		2	⑦ その他
2	現行どおり		現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。
0	拡充が必要		① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
			② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント
<p>① 市でブランド推進するより、もっと大きな組織(県)で推進すべき。一般的に「みやざきブランド」と言えば、宮崎県の生産物という捉え方しかしないのでは。</p> <p>② JA任せにせず、やり方を変えて市がリーダーシップを発揮してJAに加入していない農業経営者及び市民から「不公平感」を持たれないようにして欲しい。</p> <p>③ 事業全体がJAに引っ張られている印象を受ける。市が携わるメリット、県を含めた広域連合を進めて欲しい。</p> <p>④ 県との連携を役割分担して行うこと。</p> <p>⑤ 財源削減ということではなく、みやざきブランドを定着させるという目標を実現させるために、現在の取組み方を見直して欲しい。</p>	<p>⑥ 県ブランドと市ブランドとのバランスをどう考えるかが課題では。</p> <p>⑦ 当面、成果実績の推移を見ながら継続。</p>